

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：子ども相談センター費

事業名 委託一時保護付添業務委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 児童養護第一係

電話番号：058-272-1111(内 2637)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 270 千円 (前年度予算額：270 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	270	135	0	0	0	0	0	0	135
要求額	270	135	0	0	0	0	0	0	135
決定額	270	135	0	0	0	0	0	0	135

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・児童虐待対応件数の増加により、一時保護の件数及び延日数が増加傾向にある。通常は、児童養護施設等へ委託一時保護を行うが、障害を持つ子どもや治療の必要がある子どもは、医療機関等へ委託一時保護が必要となる。
- ・医療機関へ委託一時保護を行う場合、子相職員の付添を求められることがあるが、現行の職員体制では、十分な付添体制を整備することが困難な状況である。
- ・仮に、子相職員が付き添いを行った場合、過度の負担を強いることになり、他の虐待対応に支障をきたす恐れがある。

【委託一時保護件数 (延日数)】

平成28年度	3,912日
平成29年度	5,103日
平成30年度	5,124日
令和元年度	9,121日
令和2年度	7,648日

(2) 事業内容

・医療機関への委託一時保護が必要な児童に付き添い、保護者や子相職員の代わりに食事の介助等、身の回りの世話をを行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1/2 県 1/2 (児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	270	
合計	270	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県少子化対策基本計画

第4章 4子どもの健やかな成長支援

(2) 配慮を要する子どもや家庭への支援

(2) 国・他県の状況

児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金の対象事業となっている。
名古屋市は、すでに医療機関への委託一時保護児への付き添いを実施している。

愛知県は、令和元年度から同事業の実施を予定している。

(3) 後年度の財政負担

実績により、追加が必要となる可能性がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 医療機関へ一時保護をする際に、付き添い職員を配置し、児童が医療機関で安心して生活ができる環境を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関への委託一時保護は、突発的に起こる事案であり、いつ起こるか予測ができないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 実績なし。
令和3年	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	安心して入院（委託一時保護）できるような環境を整えることは、児童にとって必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	令和元年度実績40日 (東濃子ども相談センター 藤田医科大学病院)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	実績に応じて体制を見直している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 医療機関への一時保護委託は急に発生するため、常に対応してもらえる体制を整え、それを維持する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 実績に応じ、体制等を見直す必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	